

百五十名。シテ此他金部副都統連順、屬大捷勝
望ノ敗兵數百名アルヘク乃チ第二軍司令官ハ目
下旅順口ヲ準備スル敵ノ兵力ヲ一萬二千内外ト
推算シ其内三千ヲ除クノ外ハ皆チ新募兵、屬ス
ルモノナルヲ知レリ

此他北方ヨリ金部城ニ進ミ、アル敵軍ノ情況
ニ就キ、第二軍司令官ハ蒙キ、花園口ニ上陸セ
シ以東時々報告ヲ得タルハ本篇第四十五章ニ
掲ケタル所トモ、其後金部ニ於テ押収セル敵ノ
文書、徴シ又尚ホ諸方ヨリノ諜報ヲ得テ此頃ニ

至テ大同軍兵、騎七營ハ去ル六日普蘭店附近ニ達
シ翌七日ハ一連五十里堡マテ前進セシト耳ヒ又
普蘭店ニ引込セシト及李鴻章ハ鴨綠江ニ敗レシ
銘字軍ニ向テ十一月五日金部ニ回復スヘシトノ
電報ヲ發シタルヲ確知シタリ

此情況ニ於テ軍司令官ハ軍ノ一部ヲ金部、大連灣
地方ニ止メテ背後ヲ守ラシメ進ムテ旅順口ノ敵
ヲ攻撃スル爲メハ第一師團、混成第十二旅團及
攻城隊ヲ用ヒテ足ルベシト判斷シ此頃ハ第二師團
ヲ招致セシテ旅順口ニ攻撃ニ當テスルノ決心ヲ

第三軍司令官ノ幕
政ヲ行ハシメ決意

取リテリ

軍司令官ハ新ニ決心ヲ有シツ、類リ、後續部隊ノ集居、攻取敵ノ内地ヨリ到着スルヲ待テアリシ隙ヲ他ノ一方ニ於テ旅順口方向ノ敵情及金品ヨリ旅順口、至ル間ノ地形、路、交通路ノ情況ヲ知ラシメ、十一月九日道路復舊ノ為ノ要兵大尉堀川重太郎（大尉、旅順口方面ノ指揮官、旅順口方面ノ指揮官、旅順口方面ノ指揮官）ハ、同十日軍務課步兵大尉関谷路二即チ派遣シ之。依テ軍司令官ハ多少分進路ノ情況ヲ知ルヲ得、（旅順口方面ノ指揮官、旅順口方面ノ指揮官、旅順口方面ノ指揮官）軍司令官ヲシテ最も能ク地形及交通路

ノ情況ヲ知ラシメ得タルモノハ既に本篇第四十章、叙述シタル如ク第一師團長中將伊集院元治ノ旅順口、對シ蘇家島地方、派遣シ置ケル少將西寛（少將、旅順口方面ノ指揮官、旅順口方面ノ指揮官、旅順口方面ノ指揮官）部ヲ指揮、屬スセ支隊ノ盡力、依リ此支隊ノ為シタル復舊、依リ軍司令官ハ地形及交通路ノ情況ヲ知リ得タルノミニアラスシラ之ニ依リ敵情ヲ知リ得タル所多シトナス故ニ第二軍旅順口、向テ金品地方ヲ出發スルノ叙事ヲ開ク以前、於テ先ツ此支隊ノ行動ヲ叙述セサル可ラス

西支隊行動
(手記) 加田永三

西支隊ノ旅順口ニ向テ為セル敵情地形交通路ノ
偵察。聞スル十一月十三日マテノ行動ハ既ニ本
篇第四十六章ニ詳叙シ而シテ此夜付ニ於ケル
此支隊ノ位置ハ第~~二~~所圖ニ掲ケタルヲ如シ故
ニ今ヤ本章ニ其以後ニ於ケル行動ヲ叙セントス
西少將ハ從來ノ諸情報ニ據リ敵ノ深ク旅順口ニ
鑿伏シテ出タルヲ知り且ツ是ヨリ先ト十二日ニ
於テ三十里堡ニ一ノ兵站司令部ヲ設ケ其ハ設
置セラレ今ヤ支隊ハ前進スルモ給養ノ基礎確立
セシテ以テ明十四日ヨリ支隊ヲ率ニテ出發シ親

西支隊行動
(手記) 加田永三

リ而シテ詳細ニ敵情ヲ偵察スルノ決心ヲ取リ第一
師團長ハ此意見ヲ認可シ騎兵第一大隊第二中隊
一小隊半~~欠~~ヲ西支隊ニ増加シ此支隊ハ及々十一
月十四日現在ノ位置ヨリ出發スルトナレリ
乃チ西少將ハ先ツ秋山少佐ヲ指揮下ニ騎兵隊
ヲ率ニテ宮城子ヲ前進スヘキヲ命ジ騎兵第一
大隊第二中隊(一小隊半~~欠~~)ヲ三十里堡ニ派遣シ其
隊ニ後衛セシメタルヲ秋山少佐ハ此騎兵中隊ノ
到着ヲ待テ此日ヨリ午前七時步兵第三聯隊第一
第三中隊及騎兵第一大隊(第一中隊ノ一小隊半~~欠~~)

中隊ノ一小隊半欠ヲ率、ヲ三十里堡ヲ出發シ常
城子、向ヲ行進ヲ起セリ而シテ西少將ハ歩兵第
三聯隊第一大隊(第一、第三中隊欠)野戰砲兵第一聯
隊第五中隊、工兵第一大隊第一中隊(一小隊欠)ヲ以
テ前衛トシ、歩兵第廿一中隊ヲ編成シ、後方ヨリ前進
シ、ハ中隊ハ、此時ハ、一隊ハ、後方ヨリ前進シ、
大隊ハ、一隊ハ、時兵第一大隊第一中隊ノ一小隊ヲ
屬シ、以テ左側衛トシ、其他ノ諸隊ハ、歩兵第廿二聯隊、
工兵第廿三聯隊、砲兵第廿四聯隊、騎兵第廿五聯隊、
七時五十六分、砲臺ヲ出發シ、本隊之、跟隨シ、

概略前進ヲ前進シ、午前十時十分、三十里堡ニ達シ、
西少將ハ前衛ヲシテ前進シ、後方諸堡及復家河子ノ線
ニ據テ警戒セシメ、本隊タル諸隊ヲシテ三十里堡
砲臺化ノ間、宿營ニ就カシメタリ、又左側衛ハ、此
日、十四日、第三大隊ハ、後方ヨリ前進シ、
ノ、其第十二中隊ハ、後方ヨリ前進シ、
セシメタルノミニシテ、他ノ諸部隊ノ位置ニ就テ
ハ、此日未タ變更スル所ナキナリ、而シテ西少將ハ、
三十里堡ニ達スルヲ歩兵第廿三聯隊第一大隊長少
佐丸井政重、命令シテ、日、丸井少佐ハ、今日ヨリ常

城子。在ル分遣支隊長、任ス同支隊、指山ノ麓ニ
隊ヲ分遣ス。更ニ一中隊ヲ増加スル。依リ本日、各
鎮堡、宿營スヘキ歩兵第一大隊ノ一中隊ヲ率
テ該地ニ至ルヘシ。其任務ハ旅順口ニ在ル敵兵ニ
對シ可成近接シ敵情及道路ノ偵察ヲナスヘシ。但
シ危險ノ動作ヲナス可ラスト又之シト同時ニ、西
方將ヘ本隊メ内ヨリ更ニ歩兵第二聯隊第七、第八
中隊ヲ派遣シテ前衛ヲ増加セリ。九井少佐ハ乃チ
第四中隊長大尉名ヲ率ヘテ前進シ管城子ニ至リ
歩兵第一、第三、第四中隊及騎兵第一大隊第一中隊

ノ一小隊及第二中隊ノ一小隊半分ヲ掌握セリ。是
ヲ九井分遣隊ト稱ス。

茲ニ於テ九井少佐ハ此夜十四日秋山少佐ニ明十五
日午前七時騎兵大隊ノ首力及歩兵第三、第四中隊
ヲ率ヘテ出發前進シ双台溝ヨリ旅順口ニ通スル
道路ヲ偵察シテ危險ヲ冒スルヲ可成旅順口所
近ノ敵ニ接近シ其情況ヲ偵察スヘシトノ命令ヲ
下セリ。

之ニ依リ秋山少佐ハ乃チ翌十五日先ヲ作候トシ
テ騎兵中尉中尉操ヲ主城子マデ派遣シ置テ然ル

後々騎兵第二中隊（一小隊半欠）ヲ前衛トナシ所余
ノ如ク當城子ヲ出發シ午前十一時山潤堡ニ達シ
タリ時、敵ノ騎兵約二百名、騎兵約三十騎土城子
南方約千五百米處ノ高地及本道附近ノ地ヲ占領
シアリシヲ今日日本軍支隊ノ土城子ニ到着シタ
ルヲ見テ經々水師營ニ向テ退却ヲ始メタリ茲ニ
於テ前衛中隊ハ本道ヲ取リテ之ヲ追跡シ火石嶺
北方ノ高地線ニ達シ敵ハ李蒙化北方約八百米處
ノ高地ニ停止シ續シナル射撃ヲナシテ其進出ヲ
拒止セリ此間山潤堡ニ止リアリシ欽山支隊ノ本

隊ハ正午前進ヲ起シ欽山少佐ハ土城子ヨリ騎兵
第一中隊（一小隊欠）（騎兵約四十名）及騎兵第四中隊ノ一小隊ヲ付
シテ右側衛トナシ之ヲ泥河子石嘴子ヲ經テ水師
營ニ向ハシノ然ル後本隊ハ作隊トシテ騎兵中
尉嘉悦敏ヲ先行セシメ土城子ヨリ本道ヲ離レ其
東方ノ間道ニ依リテ山脈ヲ經過シ前記前衛ノ占
領シタル（前記）高地線ニ達シタリ此時李蒙化北方高地
ノ敵ハ其大部既ニ退却シ只僅少ノ敵兵アリテ射
撃ヲ繼續シツ、アリ

抑モ是隊ノ占領シタル（此地）高地線ハ是レ一望廣闊